

活用型情報モラル教材



アドバンスト

お試しパック

活用の手引

以下の教材については、中学校ではじめてGIGA ワークブックをご活用いただく教材としておススメしています。いずれの教材も15 分版となっておりますので、以下の活用場面例を参考にご使用ください。

どこまで写真を公開してもよいのかな

写真を撮る # 情報モラル # 並び替え
消費者 # 個人情報の公開

【活用場面例】

- ・技術・家庭科（情報分野）で、公開範囲設定や個人情報の扱いを学ぶ単元の導入
- ・道徳科「自由と責任」「公正・公平」「社会参画」に関わる単元の導入で
- ・修学旅行・文化祭・部活動大会前の写真投稿に関する事前指導で

写真を公開することで、いろいろな人に写真を見てもうることができる一方で、自分が予期しない情報を相手に伝えてしまうリスクもあります。ここでは、「公開するか／しないか」の0 か1 かの指導ではなく、「どこに公開したら、どの程度のリスクがあるのか」を考えさせることで、リスクを見積もる力を養います。判断した結果だけではなく、そう判断した理由も共有するとよいでしょう。



水着姿や下着姿の写真を送ってしまうときは？

写真を撮る # 情報モラル # 選択
消費者 # 市民

【活用場面例】

- ・性被害・デジタル性暴力に関する学習の導入または振り返りで
- ・学校でSNSトラブルが発生した後の再発防止指導で
- ・情報モラル教育の導入として、「自分もやってしまうかも」という自覚を促したい場面で

トラブル事例の紹介だけでは、「こんなことは自分は絶対にしないだろう」と他人事になってしまいがちです。そこで、あえて自分がやってしまいそうな場面を想像させる「場面強制想像法」を用いることで、トラブルへの自覚につながります。ここでは、「どんな時に自分の水着姿や下着姿の写真を撮って送ってしまうのか」を想像させることでトラブルへの自覚につながるとともに、その状況を防ぐための方法も考えさせてみましょう。



リスクの低いプロフィールをつくろう

写真を撮る # 情報セキュリティ・トラブル対応 # 自由記述
消費者 # 市民 # 個人情報の公開

【活用場面例】

- ・生成AIを用いた文章作成の事前指導で
- ・生徒会や部活動で広報活動を行う前の設計ワークで
- ・保護者参観など、親子で情報モラルを考える機会に

SNSなどで、「自分らしさ」を表現することはとても重要です。しかし、多くの人の目に留まると、それだけリスクも高まります。ここでは、あえて「リスクの低い」プロフィールを考えさせることで、「自分らしさの表現」と「リスク」のバランスを考えさせます。写真や文章など、どうすればよいバランスがとれるかを議論させるとよいでしょう。



この他の教材については、逆引きツールをご活用ください。

<https://giga-work.jp/contents/>